

まんざい

旭市立萬歳小学校
平成28年9月21日
No.5

《学校教育目標》
つよく おおきく たくましく
ともに高め合う
萬歳っ子の育成

長かった夏休みも終わり、子ども達は元気に登校してきました。この夏休みは、気候の変動が激しかったように思います。夏休みの半ばくらいまでは安定した暑さが続き、水不足まで心配されましたが、休みの後半に入ってから、台風が数多く発生し、北日本に大きな被害をもたらしました。9月に入ってから、暑い日もありましたが、これから学習や運動などに最適な季節になってきます。二学期もご支援ご協力の程、よろしくお願いいたします。

【校長室より】

ひたむきさ

長い夏休みが終わり、また学校に元気な萬歳っ子が戻ってきました。夏休みの40日間で一回りも二回りも大きく成長した子どもたちを目の当たりにし、頼もしさを感じました。

さて、今年の夏は、オリンピックイヤーということで、様々なスポーツ観戦をとおして、たくさん感動をもらいました。日本人選手の活躍に一喜一憂しながら、勝っても負けてもその姿にたくさんの人々が感動を覚えました。

人は、なぜそこに感動するのでしょうか？何が人の心の琴線に触れるのでしょうか？そんなことを考えてみたときに、一つの答えとして、人間のひたむきさがあげられます。

つらい練習をして積み重ねてきた成果を、全力で出し切ろうとする姿。勝負の結果がほぼわかっているにもかかわらず、最後の最後まであきらめない姿。苦しいけれど仲間のために、必死になってがんばる姿。このような場面に出会ったとき、わたしたちは、スポーツに限らず感動するのではないのでしょうか。

目標をもち、努力を惜しまず、夢を追い続ける姿は美しく、人々に感動を与えます。萬歳小学校の子どもたちも、オリンピックやパラリンピックに出場した選手のように、目標に向かって努力（挑戦）する子になってほしいことを、2学期始業式で話しました。萬歳っ子がこれからの学校生活をどのように過ごしていくか楽しみにしています。引き続き、保護者、地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

校長：木村 仁



自由参観日

9月15日（木）に授業の自由参観を実施しました。夏休み明けの子ども達の授業等の様子を見ていただくとともに、学校の様子的一端をご理解いただきたく実施しているものです。

子ども達も1時間目のはじめの頃は、緊張している様子もありましたが、時間が経つにつれ、いつもと変わらない様子で授業に臨んでいたようです。1時間だけの授業参観では、見られない一面を参観することができたのではないかと思います。



担任もふだんよりは、ちょっぴり多めの教材研究をして授業に臨みました。各クラスとも、わかりやすく、楽しい授業になるように努めているところです。まだまだ不十分な面も多々あったかと思えます。これからも授業改善に努めていきたいと考えておりますので、お気づきの点がありましたらお知らせいただくと幸いです。

また、今回の自由参観では、各クラスとも道徳の授業を参観できるようにしました。現在の教育で「生きる力」の育成が求められており、その根幹をなすものの一つが道徳教育だと思えます。

子ども達に必要とされる道徳性とは、美しいものや自然に感動する心、正義感や公正を重んじる心、生命を大切に、人権を尊重する心、他人を思いやる心や社会貢献の精神などととらえることができるかと思えます。

これらの道徳性の育成は、学校の教育活動全体を通じて行うものですが、道徳の時間がその中心となります。これまで経験・体験してきたことを道徳の時間にじっくり考え、自らの道徳性を高めて行けるような授業を目指していきたいと思っています。ご多忙の中、ご参観いただきましてありがとうございました。



ANA「航空教室」が行われました

これはANAの皆様が「業務概要の紹介やその一部を模擬体験することを通じて、世界の人々に「夢」と「感動」を届ける航空会社の仕事を身近に感じ、仕事の楽しさや素晴らしさとともに、チームワークの重要性なども子ども達に感じてもらうような職業教育の機会としても活用してもらう」ことを目的にANA航空教室を開催してくださいました。

主な体験学習として「機内サービス」「機体誘導」「ライフベスト」体験などを行いました。



はじめは制服姿で40名近くのANAの皆様を前に緊張気味だった子ども達も、さまざまな体験学習を行ったり飲み物をごちそうになったりするうちに緊張もほぐれ、自由体験では積極的にいろいろなコーナーに行き、疑似体験をすることができました。



一昔前であれば、あこがれの職業のトップであったパイロット、スチュワーデス（今はキャビンアテンダント）ですが、今日見てもやっぱり格好いい職業だと思いました。また、整備や誘導など様々な人達の支えによって飛行機が安全に運航されていることを理解したようです。海外に手軽に行けるようになった現在、外国で職についている萬歳っ子が何人もでるのではないのでしょうか。国際化の時代を象徴するような貴重な体験ができました。

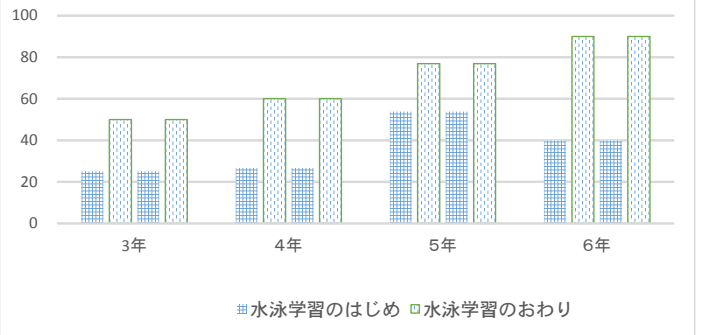
今年の水泳学習の成果

学校だよりの5月号で取り上げたように今年の水泳学習の課題の一つに水泳があります。昨年度は、天候不順で水に入れない日が多く、満足のいく成果を挙げることはできませんでした。



そこで、今年、1学期の授業における水泳の学習の機会を昨年度より多く設けました。また、1学期末から夏休みのはじめの頃は、比較的安定した天候だったことも幸いして、プールに入る回数も十分確保できました。

25M以上泳げるようになった割合の変化



水泳学習前後の25Mの記録をおとしてみると今年の水泳学習のはじめは、3年生から6年生までの児童46名のうち17名が25Mを泳げたのに対し、夏休みの最終の記録では、32名が25M泳げるようになりました。25Mの通過率が37%から70%に向上しました。3年生以上の児童の7割が一応泳げる段階に到達したわけです。

3年生から6年生まで学年別においてみると、50%、60%、77%、90%と学年が進むにつれて泳力が向上しているのが見て取れます。

今年の水泳学習は、天候にも恵まれ、子ども達の頑張りによって成果を挙げることができました。ご協力ありがとうございました。

通学合宿が行われました

旭市教育委員会主催により通学合宿が行われました。これは「子どもたちが親元を離れて、異学年同士で集団生活することにより、自主性や協調性、社会性を養うとともに、自分と家族の関係を見つめる機会とする。」ことを主な目的として行われたものです。



この通学合宿は、千葉県のみならず、全国的に実施されている社会教育事業の一つで地域のそれぞれの特色を生かしながら実施されているものです。

本年度は、萬歳小からは9名の児童が参加し、干潟中学校で机を並べる中和小、古城小の児童やボランティアの大学生と交流を深めてきました。

あともがき



運動会のない9月は空白の月になるのかと思いきや第3週は、地域子ども教室、自由参観日、ANA航空教室、と毎日のように行事等が入り、充実した時期となりました。月末には修学旅行が予定されています。

体験から学ぶことが重要視されています。子ども達が教室の中では学び得ないことを貴重な体験から学んで欲しいと願っています。

